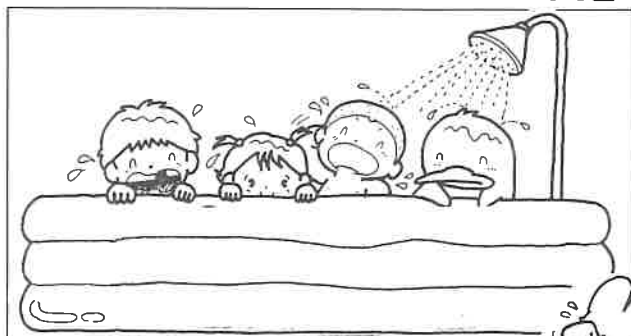


# つくしんぼ No.5

つくしこども園



## 8月のテーマ

たのしい夏

## 保育の目標

夏のおそびを十分に経験し  
健康で安全な夏を過ごす

## 子どもの活動

暑い日はプールあそびが一番！

今年は、長梅雨で実感が無いのですが、いよいよ強烈な太陽の季節を迎えました。暑い日は、朝の集会が終わると、クラス別の時間割に従って、子ども達の大好きなプールあそびが始まります。今年は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、水位を下げ、水に親しむ程度で「プールあそび」として実施することになりました。顔に水がかかるのを、嫌がる子もいると思いますが、お風呂嫌いな子も、徐々に、顔に水がかかっても平気になったり、自分から水に潜ったりと、楽しんで水遊びができるよう配慮してまいります。暑い夏はほんの一時です。親子で楽しく、夏でなければできない体験をたくさんして、元気に過ごしましょう。

◎ シャワー、プールあそびを通して、毎日の衣服の着脱が上手になってきます。プール用品の始末も、時々取り違いはありますが、年齢相応に上手に片付けられるようになってきます。特に3歳未満児クラスの子は、オムツが取れる良い機会でもありますので、ご家庭との連携で布パンツへの切り替えをさせてあげましょう。

◎ 今までできなかった事ができるようになった時や、一生懸命チャレンジしている時には、大いに褒めてあげてください。

## 保健衛生

## 夏風邪にご用心！

◇ 今年は、まだ猛暑と迄は行かない夏ですが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に注意が注がれております。雨の季節が過ぎると熱中症の心配も出てきます。また、熱帯夜で寝苦しいために、冷房等で風邪をひいたり、冷たい物を飲みすぎたり、食べ過ぎてお腹をこわしたりと、体調を崩しやすい季節です。

例年この時期は、急に高熱が出たり、ヘルパンギーナやプール熱・手足口病、耳下腺炎等の病気が感染しますので、ご用心ください。

◇ 高熱の風邪の場合は「熱が下がったから…」と翌日早速登園してきて、また発熱、そして長期欠席…というケースが多くあります。また、高熱が続く場合は肺炎になることもありますので、安易に考えずにお子さんの体を大事にしてあげてください。健康回復のために、もう一日余裕を与えてあげましょう。

◇ お部屋の温度管理や、子ども達の健康管理に十分気をつけて暑い夏を乗り越えましょう。

◇ 当園では、エアコンが全室に設置してあります。子ども達の健康上、エアコンを必要最小限に使用しています。食事と睡眠の保証のため、低年齢児は暑い日には、外気温との差5℃以内に配慮して、温度管理に留意しています。異常に暑い日が続く場合は、3歳未満児クラスのお部屋は常時適温にエアコンを使用します。

◇ あせも・とびひ・水いぼ等、皮膚疾患の流行期です。虫さされすり傷などから「とびひ」になったり、あせもからも「とびひ」になったりもします。気をつけましょう。  
・新陳代謝の著しい子ども達です。1日の締めくくりとしてお風呂等で体をきれいに洗ってあげてください。

◇ 食べ物が腐敗しやすい季節です。O-157やノロウイルスも多く発生しています。食事前、あそび後、外出後には石けんを使って丁寧に手洗いをする事を徹底して、予防に努めてください。  
“こわーい食中毒にご注意！”  
・冷たい物の食べ過ぎ、飲み過ぎにご注意ください。

◇ 「熱中症」にご用心を！  
熱中症とは、暑さによって体温の調節がうまくいかずに起こる目まいや頭痛、ひきつけ、意識障害などの様々な症状がおこり、時には死に至る、怖い容器です。  
炎天下での遊びや、作業は控えめにし、涼しい所ですごしましょう。外で遊ぶ時は、帽子をかぶり、木陰など日陰で遊ぶように教えてあげましょう。

★ こまめに水分補給をして、熱中症予防に努めましょう。

## おしらせ&おねがい

◎ 今年の夏は、日本列島は連日30度を超える真夏日や40度近い猛暑が続いております。熱帯夜もあつたりして、寝苦しくて十分な睡眠が取れずに、疲労が蓄積していきます。日頃から睡眠不足のお子さんは、規則正しい生活習慣づくりを真剣に考えて、早寝、早起きで睡眠時間（10時間）取り、食事は1日3回しっかり食べさせるように心がけましょう！

★ 夏バテや熱中症にならないように、各家庭で健康管理をしっかりいたしましょう！

### 「3～5歳児は、自分で用具の持ち帰りを！」

園では、毎日の登降園時には、〔おたよりカバン・通園カバン・プールカバン〕等、自分の持ち物は自分で持ち帰りをすることを約束しています。でも、例年降園時になりますと、お迎えの方に甘えて、できることもしないで、お迎えの方が持ち帰るのを多く見受けます。もう、十分に一人のできる事ですので、必要以上に手を掛けなくて、ご家庭でも同じに声掛けをして「自分でできることは自分でする」事の徹底を図ってまいります。

## 意義

- ◎自分の持ち物を知り、物を大切にすること。  
(忘れ物・落とし物・間違いがなくなる)
- ◎登降園することの自覚・意識の確立
- ◎発達段階からは、十分に身の回りの始末ができる年齢

※ 「荷物を持ってやる、子どもの言いなりになる…」等、子どもが出来る事まで、手を出すことは保護過剰と言われていました。可愛いから何でも子どもの要求に応えるという事は、自分でやる気や、「できた！」という成就の喜びを育てることができずに成長をストップさせてしまいます。  
「お子さんのために…」を第一に考えて、園と足並みを揃えたご指導をよろしくお願いいたします。

### 「這えば立て、立てば歩めの親心」

◎ 抱っこ・おんぶを卒業すると、何でも「1人で…」と大人の手を振り払って活動したがる0歳児です。「危ない、危ない」と目が離せませんね。でも、これが大切なことです。禁止ばかりしないで、大人は気持ちに余裕を持って、やらせてあげましょう。失敗をしながら成功の喜びを感じ、だんだんと上手になっていく子ども達です。  
放任にならず、意識して子ども達のチャレンジに付き合ってください。たくさん自信をつけさせてあげましょう。

◎ 大人も、子どもと同様に「元気よくあいさつ」をしましょう！  
元気な、気持ちよい「あいさつ」が一杯の園にしましょう！

